

(6) さんまの漁場調査

1955年以來の基幹事業として実施した。

1 調査の方法

A	使用船	備前漁業丸	30トン 65馬力
B	漁法	棒受網	
C	漁場	各鯨骨根及魚釣島近海	
D	漁期	1月19日～3月19日まで	3回

II さんまの調査概要

さんまの琉球近海に來遊する時期は明らかではないが大体11月より翌年4月頃迄を指定されている水温関係から見て15℃～23℃の間ではないかと見られる是に適當とする水温は琉球近海では1月～3月迄である本年は1月24日～26日迄鯨骨根を目標に調査し2月14日～2月18日第二回、第三回3月6日～3月21日迄17日間魚釣島方面の調査をしたがさんまの魚群を発見することは出来なかつた。

本年2月下旬魚釣島附近にさんまの浮上群を発見したとの情報があつた。(南栄丸)

「参考」琉球近海に於けるさんま浮上発見状況

(琉球近海さんま稚仔採集位置表1956年度事業報告書参照)

月 日	漁場位置	点灯時間	獲魚状態
2月14日	N26°-33' E127°-16'	19時～21時間	獲魚なし
、	N26°-25' E127°-13'	22時15分～24時間	、
2月15日	N26°-10' E127°-13.5'	1時～3時	、
、	N26°-17.4' E127°-15.3'	3時55分～6時	、
2月17日	N26°-19' E127°-42'	22時45分～24時	、
、	N26°-42.1' E127°-41.3'	24時～1時	、
2月18日	N26°-14' E127°-39'	1時～3時	、
、	N26°-14' E127°-40.3'	3時40分～6時	、

天候悪く操船困難で思う様な調査が出来なかつた。

I. 航海実績

2月14日10時30分泊港出発19時より15日6時まで上記の漁場にて調査、2月15日天候悪化10時渡嘉敷港にひなんす。

2月17日21時30分渡嘉敷港出港19時より翌日6時まで操業試験をしたが獲魚なく再び時化のため帰港につく。